

令和7年度 全国学力・学習状況調査

令和7年4月17日(木)に、文部科学省が小学6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査での、本校の結果をお知らせします。

教科ごとの平均正答率の比較

	国語	算数	理科
全国との比較	△	△	△
福井県との比較	△	△	△

<表の見方>◎…5%以上上回る ○…±5%以内 △…5%以上下回る

良好な点、課題のある点と分析、今後の対策について**国語**良好な点

◎条件に合わせて、目的に合った文章を書くことができる。

◎短い文章を読み取り、内容を捉えることができる。

→テーマや目的に合わせて文章を書くことは、国語だけでなく他の教科でも意識的に取り組んでいるので、その成果が表れていると思います。また、課題が難しくても何かしら自分の考えを書こうと粘り強く取り組む様子も見られます。

短い文章は内容を捉えることができているので、今後、より長い文章や複雑な文章、複数の文章を比べて読む力を伸ばしていきたいと思います。

課題のある点

▼話し合いやインタビューの形式のような、複数の考え方が交錯するような話の流れを捉えることが苦手な児童がいる。

→話し合い活動において、他の考えと自分の考えとを比較しながら話す活動やまとめる活動を取り入れていきます。また、国語だけでなく、様々な教科で多様な意見、考えに触れられるような課題に取り組む機会をこれまで以上に作っていききたいと思います。

算数良好な点

◎基本的な計算問題を解くことができる。

→今後も復習などで定着を図ります。

課題のある点

▼たくさんの情報から問題を解くために必要な情報を読み取ったり、選んだりすることに課題が見られる。

→読み取る力をつけるために、算数だけでなく、総合的な学習の時間や社会などでも、グラフや表を見る機会を増やします。

▼作図に課題が見られる。

→作図の手順を覚えるだけでなく、図形の定義や特徴をしっかりと理解した上で、正しく作図できるようにします。

理科

課題のある点

▼既習事項を基に予想を立てたり、予想を確かめるための実験の方法を考えたりすることが難しい児童がいる。

▼自分の予想や仮説を、表現することが難しい児童がいる。

▼理科で学習する、基本的な言葉や知識が定着していない児童がいる。

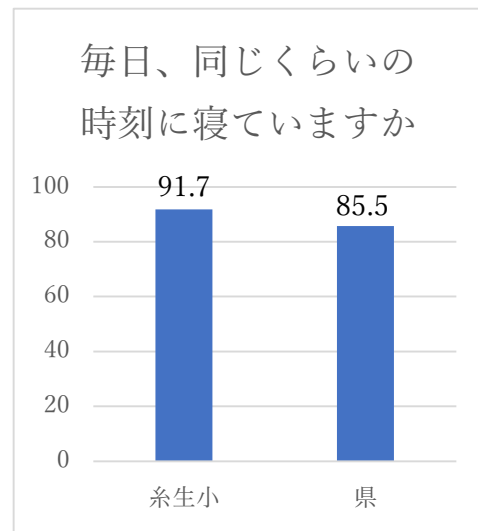
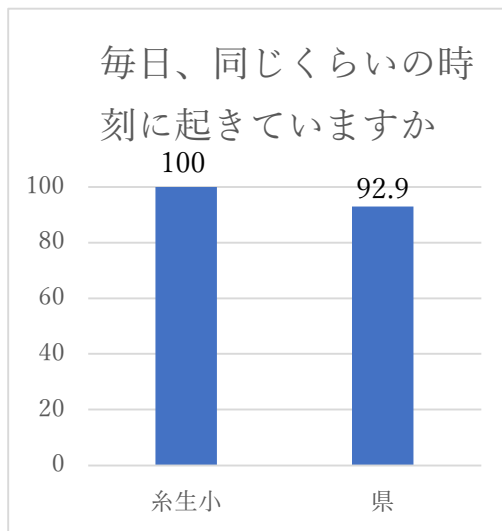
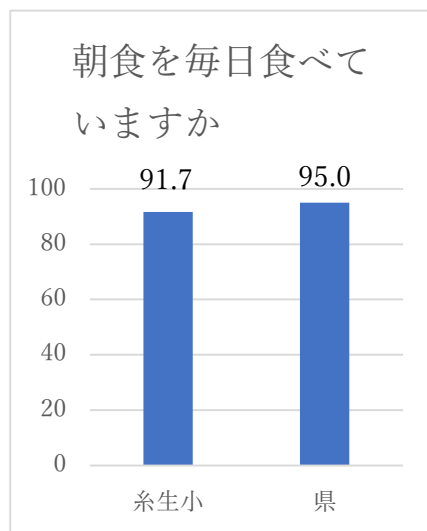
→6年生の学習を進めていく中で、これまでに学習した基本的な言葉や知識を確認することで定着を図ります。

→予想を確かめる方法等について、個人やグループで考え、伝え合い、協働的に学べるようにすることで、思考力を高めたり、表現力を養ったりします。

学習や生活

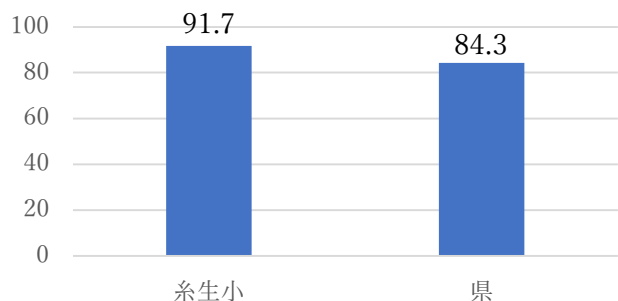
良好な点

◎規則的な生活習慣が守られている。

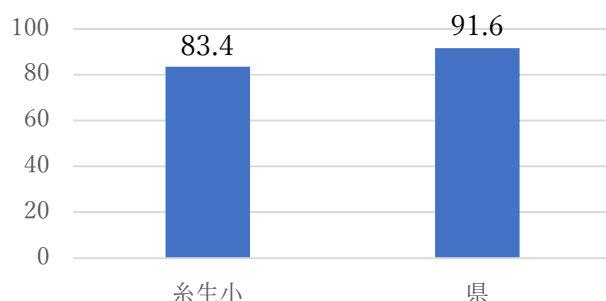


◎タブレットを使って調べたり文書やグラフを作ったりすることができている。

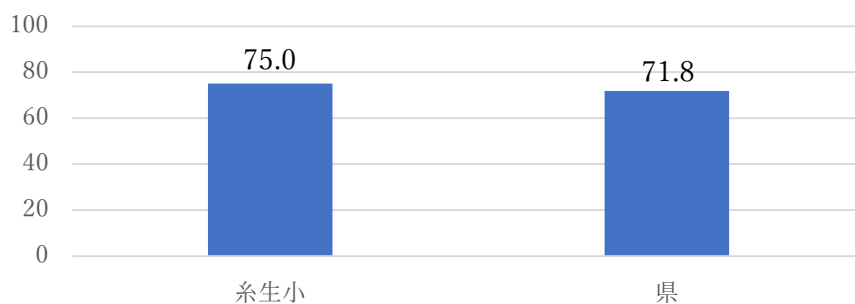
あなたは自分がP C・タブレットなどのI C T機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますか



あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか



あなたは自分がP C・タブレットなどのI C T機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか

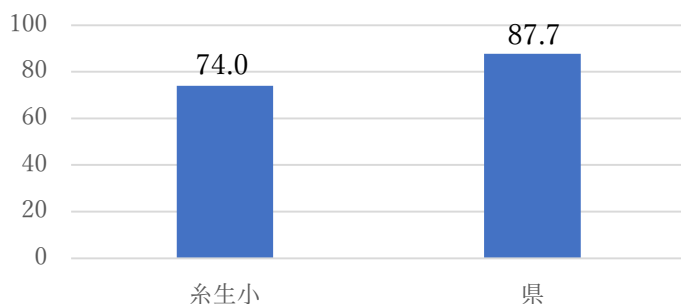


課題のある点

▼自分にはよいところがないと思っている児童がいる。自己肯定感が低い。

→先生からよいところを認められているとは思っているが、それとはつながっていないようです。先生から褒められるだけでは自分のよいところが実感できないため、学級・学校での認め合う活動を行っていく必要があると考えます。

自分には、よいところがあると思いますか



▼ICT による勉強時間が少ない

→「続きを家でやって来る」などの家庭での学習の時間を設ける必要があると考えます。

